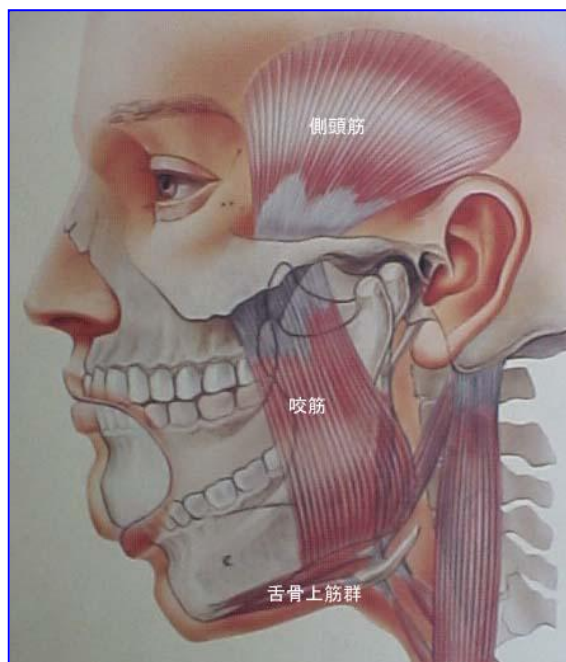
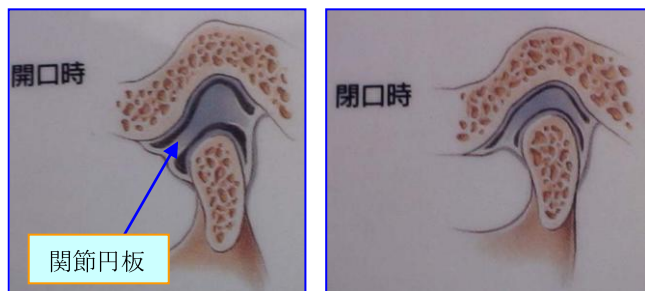


咀嚼に関する解剖図



咀嚼に使う筋肉群



関節内解剖図

咀嚼をするためには、側頭筋、咬筋、舌骨上筋群、舌骨下筋群、口輪筋、胸筋など頭部の目の後ろと耳の上あたりから胸までの12種類の筋肉を使います。

なぜ、顎がズレるの？

一番多いのは、**噛み合せの悪い人が無理をして咀嚼を続けていること**、また**長時間の不自然な姿勢**（うつ伏せや横向きに寝るなど）や**頬づえ**、**外傷**（打撲）、**偏側だけで噛む**などが考えられる。また、**治療した歯の噛み合せ不備**などが考えられます。

どんな症状がでるの？

咀嚼に関する筋肉の運動が狂いますから、頭部に行く血流、神経系、分泌系などのバランスが乱れる場合があります。その結果、**耳鳴り**、**偏頭痛**、**手足のしびれ**、**肩こり**、**腰痛**、**生理不順**などおおよそ顎と関係ないだろうと考えてしまう症状がでます。

顎関節症の見分け方

- ① 鏡をみて自分の顔の筋肉のつき方が**左右対称**ですか？
 - ② 顎の先端が顔の正中（真ん中のライン）からずれていませんか？
 - ③ 口を開けるときの関節に**違和感**や**音**がしませんか？
- など注意深く観察してください。

おかしかったらどうすればいいの？

症状の発現には、個人差がありますから、自分に変な癖がある場合はそれを直すように、症状がある場合は、速やかに治療を行うことをお勧めします。

で・・・どんな治療をするの？

まず、レントゲン写真撮影、触診、口腔内診査などを行います。そして、左右どちらの関節に歪みをきたしているのかを診断します。それから、**スプリント**（透明なプラスチック様な物）という装置を口腔内に装着し治療を進めていきます。



スプリント

この装置はできれば1日中装着（食事の時ははずす）していただきます。取り外しは自分で簡単にできます。**噛み合せが悪い**という原因からきている顎関節症ならば、この装置でほとんど痛みは消失します。

文責：さとう矯正・小児歯科
院長（歯学博士）佐藤仁彦